

土	岡	土	村		岡	岡			○
屋	田	屋	井	は	田	田			六
「	「	「	「	、	「	「			本
ま	さ	古	か	な	ホ	い	三	地	木
ず	く	い	・	ん	ン	や	人	下	（
は	て	ん	い	か	ト	あ	が	鉄	夜
、	、	だ	・	、	、	、	出	の	）
ナ	ど	よ	か	こ	ホ	三	て	出	
ン	こ	、	・	う	ン	ヶ	く	口	
パ	行	お	ん	、	ト	月	る	か	
、	こ	前	」	刺	、	ぶ	る	ら	
ナ	う	は		激	い	り	。	岡	
ン	か	」		が	い	だ		田	
パ	？			あ	よ	よ		、	
」	」			っ	な	」		村	
				て	あ			井	
				」	、			、	
					六			土	
					本			屋	
					木			の	

村井「頑張ってくださいよ」

岡田が土屋の肩を叩きながら

岡田「おい、おい、その必要もなさそうだぞ」

土屋「どうして」

岡田「まあ、まあ」

岡田が少し早歩きで土屋、村井の前に

出ていく。

岡田「野上さん」

ゆりがその声に気が付き手を上げ、大

きく振っている。

ゆ	い	村		岡	岡	ゆ	カ	岡	
り	て	井		田	田	り	い	田	
「	「	「		「	さ	「	る	「	
ま		あ	そ	三	ん	そ	ん	よ	ゆ
た		れ	こ	ヶ	だ	ん	で	っ	り
あ		、	へ	月	っ	な	し	、	に
、		野	、	ぶ	て	こ	よ	久	走
同		上	村	り	何	と	「	し	り
じ		さ	井	の	や	な		ぶ	寄
こ		ん	、	六	っ	い		り	る
と		、	土	本	て	で		。	岡
言		ま	屋	木	る	す		野	田
っ		た	が	だ	ん	よ		上	。
て		遊	追	か	で	く		さ	
る		ん	い	ら	す	。		ん	
し		で	つ	な	か	そ		遊	
い		ば	く	あ	「	う		ん	
「		っ	。	「		い		で	
		か				う		バ	
		り				う		ッ	

村井 「またつて？」

岡田 「さっき言ったのよ、俺が。それよりそ

ちらは」

ゆり 「そうそう、洋子。小川洋子」

洋子が男性陣に会釈する。

土屋 「こんばんは」

岡田 「さて、これからデイスコ、行かない？」

ゆり 「どうしようか」

と、洋子の顔を見る。迷っている二人

の肩を土屋が叩きながら。

」

○		村	土						土
デ		井	屋						屋
イ		「	「						「
ス		知	お	の	屋	し	岡	五	ま
コ		る	い	後	が	ゃ	田	人	あ
店		か	、	方	並	べ	が	が	、
内		よ	二	か	ん	っ	ゆ	歩	ま
		、	対	ら	で	て	り	い	あ
		そ	三	廻	い	い	と	て	、
		ん	じ	り	る	る	洋	い	悩
		な	ゃ	込	。	。	子	る	ん
		こ	な	ん	土	そ	の	。	で
		と	い	で	屋	の	間		な
		」	の	。	が	両	に		い
			、		村	端	入		で
			ど		井	に	っ		行
			う		の	村	て		き
			す		方	井	二		ま
			ん		に	と	人		し
			の		列	土	と		よ
			」						」

洋		土	岡	土	村				
子		屋	田	屋	井				
「		「	「	「	「				
コ	と	何	何	気	い	五	音	の	フ
ー	、	飲	か	分	や	人	楽	4	ロ
ラ	ゆ	む	飲	最	あ	が	が	人	ア
」	り	？	も	高	、	ソ	チ	と	で
	と	」	う	」	久	フ	丨	意	五
	洋		よ		々	ア	ク	気	人
	子		。		に	丨	ミ	投	が
	に				踊	に	ユ	合	踊
	聞				つ	座	丨	し	っ
	く				た	る	ジ	て	て
	。				、	。	ッ	い	い
					踊		ク	る	る
					っ		に	。	。
					た		変		洋
					」		わ		子
							る		も
							。		他

	洋	ゆ	岡	ゆ				土	ゆ
	子	り	田	り				屋	り
	「	「	「	「				「	「
岡	じ	や	俺	一	て	は	土	ち	私
田	ゃ	だ	と	度	い	何	屋	よ	も
と	、	く	踊	、	る	組	が	っ	「
洋	私	「	ろ	踊	。	もの	カ	と	
子	と		う	っ	そ	の	ウ	行	
が	踊		か	て	の	男	ン	っ	
チ	ろ		「	み	様	女	タ	て	
丨	う			た	子	が	丨	く	
ク	よ			い	を	チ	に	る	
を	、			わ	見	丨	向	「	
踊	岡			ね	て	ク	か		
っ	田			チ	い	ダ	う		
て	さ			丨	る	ン	、		
い	ん			ク	ゆ	ス	フ		
る	「			「	り	を	ロ		
。					。	踊	ア		
						っ	で		

岡田「相手が違うんじゃないのか？」

洋子「だって、ゆりの方しか見てないじゃん」

岡田「俺を誘うと危ないよ」

洋子「どんな風にな？」

岡田「こんなふうにな」

岡田「洋子の目を見ながら唇を重ねる」

。

」